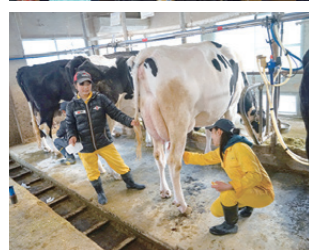




京都府立農芸高等学校 (京都府南丹市) 12月20日

**自ら考え行動を实践
理想を追求できる酪農の魅力**

同校OGで府内の牧場に勤める小島範子さん、秋田県新林牧場の柴田瑞穂さんが酪農の魅力を語った。小島さんは、自ら考えて仕事ができる事が酪農の魅力で、続けるには責任感、ポジティブさ、牛が好きなき事が重要だと語った。また、京都の酪農家戸数が減少している事に触れ、「京都での就農をぜひ」と後輩たちにエールを送った。柴田さんは、酪農は経営方針に



「酪農の夢」出張授業ダイジェスト

NEWS

未来の酪農業につなげたい

JA全農が、酪農業の仕事の紹介を通じて、次世代の担い手を1人でも多く—との思いで開催している、「酪農の夢」出張授業。日本コカ・コーラ株式会社と連携し、2015年からスタートした取り組みは5年目を迎えた。今回は2019年度下期の活動をダイジェストで紹介する。



岩手県立農業大学校 (岩手県胆沢郡) 1月23日

**喜びを感じる瞬間
酪農の魅力語る**

岩手県で酪農ヘルパーをする木戸場真紀子さん、秋田県新林牧場の柴田瑞穂さんが、酪農の喜び、やりがいについて語った。木戸場さんは、ヘルパーは牛相手の仕事だが、実際は経営者(酪農家)をお客様とするサービス業であり、信頼関係が大切だと話した。仕事を着実に積み重ねて、力で男性に劣る分は丁寧さと確実性でカバーする等、仕事への真剣な



中国四国酪農大学校 (岡山県真庭市) 11月25日

**100戸あれば100通り
それぞれの酪農家の形**

同校OGである滋賀県の山田牧場の長崎清子さん、北海道の山岸牧場さくら工房の北出愛さんが、それぞれが思う酪農を熱弁した。長崎さんは、従業員として働く中で命の重さを感じる事もあるが、命と向き合い、牛とともに生きる事にやりがいを感じると話した。また、酪農家のやり方がそれぞれ違う事に触れ、学生たちに向け、研修先の社長と会話を重ね、自分

の思う酪農に合っているか考えてみてほしいとアドバイスを送った。北出さんはもともと実家の酪農には興味がなく他業界へ就職したが、ヨーグルト製造の手伝いをきっかけに酪農の世界に興味を持つようになった。これから仲間を増やし、楽しみながら酪農にかかわっていききたいと締めくくった。

